

1. 研究課題名：

気候変動の緩和策と適応策の統合的実施研究に関する検討



2. 研究代表者氏名及び所属：

沖 大幹（東京大学生産技術研究所）

3. 研究実施期間：平成 26 年度

4. 研究の趣旨・概要

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）による評価報告書等では気候変動の緩和策と適応策とは気候変動対策における車の両輪である、と位置づけられているが、これまで両者はそれぞれ個別に取り扱われることが多かった。

本研究提案は緩和策と適応策の統合的な気候変動対策を実施する際の計画立案や手順と進め方、ロードマップを提案するために不可欠な科学的知見や技術を蓄積し、適用可能とするためには、今後どのような研究開発体制が必要であるかに関する予備調査を行う。

この予備調査によって効率的で効果的な研究組織や体制案を構想、提案し、行政ニーズを満たす有効な研究の開始に貢献する。

5. 研究項目及び実施体制

①防災と適応策の相乗効果やアジア諸国における実施に関する研究の検討（東京大学）

②緩和策と適応策の統合的なモデル解析研究の検討（国立環境研究所）

③生態系保全による緩和策と適応策の統合や地方自治体における実施に関する研究の検討（横浜国立大学）

6. 研究のイメージ

